

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年6月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第44期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日） |
| 【会社名】 | Y K T 株式会社 |
| 【英訳名】 | YKT CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 井元 英裕 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区代々木五丁目7番5号 (上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。) |
| 【電話番号】 | 該当事項はありません。 |
| 【事務連絡者氏名】 | 該当事項はありません。 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都渋谷区代々木四丁目31番6号 |
| 【電話番号】 | 03(3467)1251(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営本部長 山本 庸一 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第43期 第1四半期連結 累計期間 | 第44期 第1四半期連結 累計期間 | 第43期 |
|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 会計期間 | 自2019年 1月1日 至2019年 3月31日 | 自2020年 1月1日 至2020年 3月31日 | 自2019年 1月1日 至2019年 12月31日 |
| 売上高 (千円) | 3,330,625 | 2,089,658 | 11,615,506 |
| 経常利益 (千円) | 219,842 | 47,894 | 562,509 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 146,512 | 21,145 | 449,215 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 179,117 | 11,147 | 479,742 |
| 純資産額 (千円) | 5,948,241 | 6,176,207 | 6,249,468 |
| 総資産額 (千円) | 10,946,192 | 10,442,851 | 11,028,997 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 12.32 | 1.78 | 37.77 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 54.2 | 58.8 | 56.5 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス（新型コロナウイルス）の感染拡大に関しては、世界的な感染の拡大が顕在化しており、この状況が長引いた場合、設備投資需要の低迷等により、当社グループの経営成績に悪影響を及ぼす恐れがあります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響等による景気の停滞懸念に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内景気は緩やかな回復基調から一転して低迷する状況となりました

当社グループの主要販売先である電機・機械・自動車等の製造業においても、これらの影響により需要が減少、生産量の低下が見られ、設備投資計画に停滞感がありました。その結果、当第1四半期累計期間の連結売上高は、20億8千9百万円（前年同期比37.3%減）となりました。損益面でも売上高が減少した結果、営業利益2千9百万円（前年同期比85.9%減）、経常利益4千7百万円（前年同期比78.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2千1百万円（前年同期比85.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（電子機器及び工作機械等）

電子部品実装機を中心とした電子機器販売は中国市場では新型コロナウイルスの影響により、納入予定先で業務停止が見られ、予定していた設備機械の納入が延期になるなどして減少いたしました。工作機械販売も工具研削盤を中心に国内需要が減少した結果、当セグメントの売上高は19億3千6百万円（前年同期比38.0%減）、営業利益は1千5百万円（前年同期比91.7%減）となりました。

（光電子装置）

光電子装置の販売は光通信部品の量産案件がなく、当セグメントの売上高は1億5千3百万円（前年同期比28.1%減）、営業利益1千3百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億8千6百万円減少し、104億4千2百万円となりました。これは主として建設仮勘定で4億円の増加がありました。買掛金の支払等により現金及び預金が4億3千5百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が2億9千5百万円減少したことなどによるものです。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億1千2百万円減少し、42億6千6百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金と長期借入金合計で8億4千9百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が10億6百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7千3百万円減少し、61億7千6百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が4千3百万円減少したことと、剰余金の配当額5千9百万円などにより、利益剰余金が3千8百万円減少したことによるものです。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 40,000,000 |
| 計 | 40,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年6月12日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 11,906,880 | 11,906,880 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 11,906,880 | 11,906,880 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (千株) | 発行済株式総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|--------------------|-------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2020年1月1日~ 2020年3月31日 | - | 11,906 | - | 1,389,836 | - | 1,373,361 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 12,400 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 11,852,700 | 118,527 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 41,780 | - | - |
| 発行済株式総数 | 11,906,880 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 118,527 | - |

【自己株式等】

2020年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| Y K T株式会社 | 渋谷区代々木5-7-5 | 12,400 | - | 12,400 | 0.10 |
| 計 | - | 12,400 | - | 12,400 | 0.10 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,250,521 | 2,814,983 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,361,969 | 1,066,643 |
| 商品 | 2,436,482 | 2,332,378 |
| その他 | 404,868 | 308,977 |
| 貸倒引当金 | 1,168 | 1,056 |
| 流動資産合計 | 7,452,673 | 6,521,925 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 307,070 | 301,846 |
| 土地 | 1,657,243 | 1,657,243 |
| 建設仮勘定 | 423,760 | 823,760 |
| その他(純額) | 39,755 | 35,518 |
| 有形固定資産合計 | 2,427,829 | 2,818,368 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 12,285 | 10,885 |
| 無形固定資産合計 | 12,285 | 10,885 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 279,794 | 225,250 |
| 投資不動産(純額) | 642,940 | 640,585 |
| その他 | 213,473 | 225,837 |
| 投資その他の資産合計 | 1,136,208 | 1,091,673 |
| 固定資産合計 | 3,576,324 | 3,920,926 |
| 資産合計 | 11,028,997 | 10,442,851 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,476,433 | 470,303 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 577,940 | 699,083 |
| 未払法人税等 | 33,292 | 22,037 |
| 賞与引当金 | - | 39,600 |
| 役員賞与引当金 | - | 3,000 |
| その他 | 1,014,623 | 613,511 |
| 流動負債合計 | 3,102,289 | 1,847,535 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,381,346 | 2,109,695 |
| 退職給付に係る負債 | 272,617 | 284,832 |
| その他 | 23,275 | 24,581 |
| 固定負債合計 | 1,677,239 | 2,419,108 |
| 負債合計 | 4,779,528 | 4,266,643 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,389,836 | 1,389,836 |
| 資本剰余金 | 1,997,995 | 1,997,995 |
| 利益剰余金 | 2,742,021 | 2,703,695 |
| 自己株式 | 3,774 | 3,774 |
| 株主資本合計 | 6,126,079 | 6,087,753 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 103,126 | 59,952 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5,319 | 2,174 |
| 為替換算調整勘定 | 3,214 | 6,054 |
| その他の包括利益累計額合計 | 101,021 | 51,724 |
| 非支配株主持分 | 22,367 | 36,730 |
| 純資産合計 | 6,249,468 | 6,176,207 |
| 負債純資産合計 | 11,028,997 | 10,442,851 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,330,625 | 2,089,658 |
| 売上原価 | 2,617,165 | 1,559,556 |
| 売上総利益 | 713,459 | 530,101 |
| 販売費及び一般管理費 | 507,271 | 501,024 |
| 営業利益 | 206,188 | 29,076 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 801 | 519 |
| 受取配当金 | 685 | 685 |
| 仕入割引 | 8,689 | 6,731 |
| 不動産賃貸料 | 8,130 | 8,130 |
| 補助金収入 | - | 17,890 |
| その他 | 1,681 | 541 |
| 営業外収益合計 | 19,987 | 34,499 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,780 | 3,724 |
| 不動産賃貸費用 | 2,440 | 2,355 |
| 為替差損 | - | 6,675 |
| その他 | 113 | 2,926 |
| 営業外費用合計 | 6,334 | 15,681 |
| 経常利益 | 219,842 | 47,894 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 219,842 | 47,894 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,004 | 18,609 |
| 法人税等調整額 | 38,996 | 8,864 |
| 法人税等合計 | 61,000 | 9,744 |
| 四半期純利益 | 158,841 | 38,150 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 12,328 | 17,004 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 146,512 | 21,145 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 158,841 | 38,150 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,855 | 43,173 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,687 | 3,145 |
| 為替換算調整勘定 | 6,734 | 9,268 |
| その他の包括利益合計 | 20,276 | 49,297 |
| 四半期包括利益 | 179,117 | 11,147 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 166,515 | 25,510 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 12,602 | 14,363 |

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大により、電子機器及び工作機械市場の設備投資需要が減少しております。感染の拡大は徐々に鎮静化の様子が伺えますが、その影響はワクチンや治療薬が普及するまで、しばらく続くものと想定いたします。そのため、当社では第3四半期連結会計期間以降、徐々に受注、販売が回復すると仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|------|--------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 2,206千円 | -千円 |
| 支払手形 | 37,620千円 | -千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 11,522千円 | 11,187千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2019年3月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 59,472 | 5.00 | 2018年12月31日 | 2019年3月28日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2020年3月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 59,472 | 5.00 | 2019年12月31日 | 2020年3月26日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 電子機器及び 工作機械等 | 光電子装置 | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,124,756 | 205,868 | 3,330,625 | - | 3,330,625 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | 6,990 | 6,990 | 6,990 | - |
| 計 | 3,124,756 | 212,858 | 3,337,615 | 6,990 | 3,330,625 |
| セグメント利益 | 181,201 | 25,402 | 206,603 | 415 | 206,188 |

(注)1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去415千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 電子機器及び 工作機械等 | 光電子装置 | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,936,795 | 152,862 | 2,089,658 | - | 2,089,658 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 30 | 260 | 290 | 290 | - |
| 計 | 1,936,825 | 153,122 | 2,089,948 | 290 | 2,089,658 |
| セグメント利益 | 15,067 | 13,319 | 28,386 | 690 | 29,076 |

(注)1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去690千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 12円32銭 | 1円78銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 146,512 | 21,145 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円) | 146,512 | 21,145 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 11,894,500 | 11,894,450 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年6月12日

Y K T株式会社

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 安彦 潤也 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 明充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているY K T株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、Y K T株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管してあります。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。